

H23 年度科学・技術関係予算概算要求 個別施策ヒアリング
【施策番号 24161：ITER 計画（建設段階）等の推進（文部科学省）】

- 1 日時：平成 22 年 10 月 1 日 : 15 : 10 ~ 15 : 30
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室
- 3 聴取者：相澤議員、白石議員、奥村議員、
外部専門家 3 名（うち若手 1 名）
- 4 説明者：文部科学省 研究開発局 研究開発戦略官 片岡 洋 他
- 5 施策概要

核融合エネルギーは、資源量・供給安定性、安全性、環境適合性、核拡散抵抗性、放射性廃棄物の処理・処分等の観点で優れた社会受容性を有し、恒久的な人類のエネルギー源として有力な候補。このため核融合エネルギーの科学的及び技術的可能性の実証を目指した ITER 計画を 7 極（日・欧・露・米・韓・中・印）による国際協力のもとで推進するとともに、ITER 計画を補完・支援する先進的核融合研究開発プロジェクトである幅広いアプローチ活動を、日欧協力のもとで推進する。

6 質疑応答模様

【相澤議員】

計画変動があった場合に国民に分かりやすいように説明して欲しい。負担額が増額しているが、十分に説得力のある説明が必要である。

【文科省】

7 月に理事会において、これまでの詳細な検討の結果、様々な追加機器が必要になったこと、参加極の増加によるインターフェースの調整のために必要な ITER 機構の運営費が増えたことにより、建設期間全体で 2000 億円程度増えた。レートの問題もあるが、日本分担分は約 180 億円増。

【相澤議員】

大きなプロジェクトなのは理解できるが、膨らんでいることに対する危機感が不足しているのではないか。

【文科省】

ITER 理事会でコスト抑制策については指示を出しているところ。国民への説明は、ご指摘を踏まえ、さらに取り組んでいきたい。

【奥村議員】

ITERにおける理事会の権限、意思決定メカニズムはどうなっているか。

【文科省】

ITER 理事会が最高意思決定機関である。予算の増額については全会一致でおこなうこととなっている。

【外部専門家】

各極の出資割合はどうなっているのか。また、成果は出資割合によるのか。

【文科省】

EUが45.5%、その他は同一割合で9.1%である。成果は共有することになっている。

【奥村議員】

実用のためには更に金がかかるという説明はしているのか。

【文科省】

21世紀中葉に実用化の目処を得ることを目標にしている。まずはITERで科学的・工学的実現性を確認する。国民への説明は今後もしっかりおこなっていきたい。

【内閣府】

波及効果について、文科省としてはどういう展開、政策についてロードマップを描いて進めているのか。

【文科省】

ロードマップという形では作っているものはない。

【奥村議員】

当初計画より予算が増加したり、計画が遅れたりする場合、ITERよりもっと上のレベルで決めるのか。

【文科省】

政府の代表がITER理事会のメンバーになっており、ITER理事会で決定する。

以上